

しよく ぶつ のう か かんが あたら う かな
植物農家が考える新しい売り方!

ゆう げん かい しゃ あさ の ま えん げい
有限会社 麻野間園芸

えん げい 園芸

所在地 設楽町西納庫字駒ヶ原177 TEL 0536-65-0340




せいの 生活に彩りを
 届ける植物を生産

あさの ま えん げい かんしやう ようしよく ぶつ
 麻野間園芸は観賞用植物を生産する植物農家です。たくさ
 んある農業用ハウスを使って、
 きおん みず つち えいよう かんり
 気温や水やり、土の栄養の管理
 ちゆうい おんかん ひん
 に注意しながら、年間で100品
 しゆいじやう しよく ぶつ そだ はないち ば
 種以上の植物を育て花市場へ
 しゆつか さいばい
 出荷しています。栽培している
 しよく ぶつ なか ししや つく
 植物の中には、自社で作ったオリジナルのシクラメンや、ぷっくりとした見た目が人気の多肉植
 ぶつ かいがい たね ゆにゆう そだ めずら くばな たしゆ たよう しよく ぶつ
 物、海外から種を輸入して育てた珍しい草花など、多種多様な植物があります。これらの植物
 は、暮らしに彩りを与えてくれると多くの人に喜ばれています。



あさの ま えん げい さい ばい
 麻野間園芸で栽培している植物

しよく ぶつ かんしやう ひん さい ばい
 主力商品として栽培
 しているシクラメン。

わかもの にん き ちから
 若者に人気があるため、力を
 入れて生産している多肉植物。

む かん ようしよく ぶつ
 クリスマス向けの観葉植物。
 きせつ せつ ぶん かい けつ ほうほう ぶん じきやう あり
 季節のイベントに合わせた植
 物を育てています。



ヒストリー
HISTORY

こう き しん
好奇心にかられ
 せ かい しよく ぶつ まな
世界へ植物を学びに


しよく ぶつ のう か けいけん つ どう
 植物農家としての経験を積むため、東
 きやう ぶつ かい えん げい せん もん てん しよく ぶつ
 京の有名な園芸専門店に就職した
 あさの ま えん げい かんしやう ようしよく ぶつ
 麻野間さん。好奇心が強く、他の部署
 にも関わらず植物市場の仕入れに向か
 うお店の同僚に勝手に勝手について行き、よく
 市場の様子を調べていたそうです。そこでは少し変わった植物が高い値段で売れることを
 しり、「これからの植物農家は、自分で作ったオリジナルの植物を売ることが重要だ」と
 きき けいけん かんしやう どの なん べい
 知りました。そこで、オリジナルの植物の開発方法を学ぶ環境が整っている南米のエク
 アドルへ行くことに。エクアドルでは開発や栽
 培方法を学び、さらにペルーやボリビア、ブラ
 ジルを旅しながら、各地に生息する植物を見
 てまわりました。海外での経験は技術を学ぶだ
 けではなく、広い視野と知識が身につく、現在
 のシクラメンの開発や会社の
 経営に生かされています。

だいひやうとりしりやく あさの ま たつ や
 代表取締役 麻野間 達矢さん




のう か ばり あげ げん しょう しよく ぶつ のう か かが もん だい
農家や売上の減少など、植物農家が抱える問題

げん ざい に ほん ぜんこく じよ じよ しよく ぶつ のう か げん しょう ばな あり あげ き
 現在、日本全国で徐々に植物農家が減少し、花の売上も下
 がってきています。麻野間さんは、その原因の一つとして、農家
 は生き物を育てる仕事のため、毎日の世話が必要で、まとまった
 休日を取ることができないからだと考えています。そこで、売上の
 低下と職場環境の問題を解決する方法として、新事業「遊べる
 花屋」をスタートさせました。





これまでの考え方を改めて新たな方法で
植物農家の発展を目指す!

植物農家が抱える問題を解決する方法の一つとして誕生したのが、植物を販売するカフェ「遊べる花屋」です。現在チャレンジしている、新たな働き方や植物農家であることを生かした取組を紹介します。



植物をテーマに観光地化

現在、観光農園や食べ放題のブルーベリー園、園芸専門店など、農家であることを生かした施設を建設中。農園を観光地化することで、お客さんを集めることができ、施設の利用料金などによって売上を伸ばそうと考えています。

仕事と家族の時間を一緒に

仕事が忙しくて家族との時間を作れないことをどうするか。麻野間さんが悩んだ末に導いた答えが、「仕事と家族との時間の境目をなくす」という考えです。そこで、職場である農業用ハウスの近くに「遊べる花屋」を建設。店内と敷地にも子どもが遊べるスペースや広場を作り、奥さんに経営をまかせることにしました。麻野間さんが職場とカフェを行き来することで、仕事をしながら、家族との時間を作ることができるようになったのです。



売り方を変える

農家は一般的に、市場へ農作物を出荷して収入を得ます。自社で販売できる「遊べる花屋」を経営することで、市場を通さず、直接植物を販売できるようにしました。その結果、中間の手数料を省き、価格を抑えてお客さんに販売できるので、とても喜ばれています。また、カフェとして、植物を買いに来る目的以外の人にも利用してもらえるので、その分が売上アップにつながります。



植物に興味を持ってもらう場を目指しています



どんな観光農園ができるの?

新施設の観光農園「星庭」は、季節によって様々な植物が庭を彩り、植えられている一部の植物を隣接する園芸専門店でも販売する予定です。また、ワークショップや結婚式など、イベントスペースとしても活用することができます。



P.14~17のイオリススペースが庭をデザイン



植物の葉で魅せる庭、たくさんの花で彩る庭など、ゾーンごとに異なる植物の魅力が楽しめる庭を作っています。多くの人が集まり、喜んでもらえるとうれいです。



岡本 圭介さん

社長からみんなに MESSAGE

海外へ飛び出そう!

海外へ飛び出してください。世界には数えきれないほどの仕事があり、普段の生活では出会えない仕事があります。今やりたいことが無いと感じるのは、ただ知らないだけという場合があります。私自身も海外へ出たおかげで視野を広げ、色々な仕事に出会えたのでおすすめします。

